

鯨ヶ沢町社協だより

2024.10月号

ふれあい



※社協は社会福祉協議会の略称です。

発行・編集／社会福祉法人鯨ヶ沢町社会福祉協議会
TEL：0173-82-1602 FAX：0173-72-5804
〒038-2761 鯨ヶ沢町大字舞戸町字後家屋敷9-4

社協あじがさわ

URL <http://ajisyakyo.justhpb.jp>
E-mail ajisya@chic.ocn.ne.jp

10月5日(土) 海の駅わんどにて 街頭募金を行いました♪



募金運動中の
あじがさわジュニアバスケットボールクラブの皆さん

期間
10月1日～
12月31日

募金ボランティアのみなさんが募金のお願いにお伺いします。また、町内会から一括して募金をいただく地区もあります。

赤い羽根共同募金にご理解とご協力を
お願いいたします。

～今年のオリジナルピンバッジをご紹介します～

鯨ヶ沢町共同募金委員会では毎年オリジナルピンバッジを製作しており、今年のピンバッジは「わさおと鯨」です！千円以上のご寄附で進呈しております。

10月1日より
赤い羽根共同募金が始まっています。

赤い羽根共同募金は、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らすための活動を支える募金です。皆さまから様々な形でご協力いただいております。鯨ヶ沢町では昨年度1,432,230円の募金が集まりました。

また、10月5日(土)海の駅わんどにて街頭募金を行い、あじがさわジュニアバスケットボールクラブの皆さんが協力してくれ34,431円の募金が集まりました。たくさんの方に協力いただき、本当にありがとうございます。



空き缶・ペットボトル収集ボランティアのみなさん

いつも収集ボランティア活動にご協力いただきありがとうございます。
皆様からいただいた空き缶・ペットボトルの収益は、フードバンクの食材など福祉の充実に役立てられています。

ごみとして収集されるのではなく、リサイクルされ福祉充実のために使われています。みなさんも収集ボランティアの一員として、引き続きご協力をお願いいたします。

《収集日》

毎週月曜日8時～17時です。祝日も実施しています。



【お願い】

アルミ缶・スチール缶・ペットボトルの仕分けにご協力ください。今後ルールを守ってくださるようお願いいたします。

鯨ヶ沢町社会福祉協議会 FacebookとInstagramで情報発信中!

「鯨ヶ沢町社協をもっと知ってほしい」「社協を身近に感じてほしい」との思いから、FacebookとInstagramを活用して、社協事業の紹介、地域や社協での出来事などさまざまな最新情報を発信中です。QRコードから登録できます。

facebook



Instagram



善意の窓

～令和6年5月1日から令和6年9月30日までに寄付いただいた方々です～

(敬称略)

【プルタブ】 長谷川繁 小笠原智彦 岩谷松子 相馬裕子 一戸忠志 葛西ツマ子 山本三江 佐藤寿毅 佐藤ミズ子 新谷紅陽 川野良一 清野勝二 斎藤隆 野呂信一 本間睦斗 兼岡みや子 見崎サエ 茶谷貞一 秋元茂子 番場幸浩 神勢津子 古川 長谷川仁優 齋藤啓子 鈴木史紀 中村ヒサ子 高橋淳 田中昭仁 清野ヒデ
(株)丸正 カワムラ電気 種里支部 澤田鉄工所 (株)HIROSE鯨ヶ沢 山田住建 天徳林産(株) 中下有志会 赤石婦人会 大和田すずらん会 中村婦人会

【古切手】 カワムラ電気 役場総務課 種里支部 葛西ツマ子 老人クラブ新田ほのぼの会 佐藤ミズ子 川野良一 野呂信一 (株)HIROSE鯨ヶ沢 大和田すずらん会 (有)木村工業

【寄附金】 (宗)孝道山青森別院

令和6年4月1日～令和6年9月30日収集分

空き缶(アルミ・スチール)	2,120kg
ペットボトル	1,310kg
合計	3,430kg

収集場所

鯨ヶ沢町総合保健福祉センター
～旧いこいの湯玄関前～

正面玄関



旧いこいの湯

デイサービス秋の恒例行事

地域
散策



弘前市嶽方面へ9月3日から6日までの4日間、地域散策に出かけてきました。

車中ではなぞなぞクイズやりんごの唄をみんなで歌いながらわいわい楽しく過ごしました。嶽きみを買ひ、岩木山神社で参拝しアイスクリームを食べ、帰りに立ち寄ったJA四季彩館では旬の野菜や惣菜をお土産に買ひ、大満足の地域散策になりました。

利用者の皆さんからは「1年ぶりのきみは美味しい」「楽しい！また来年も連れてきてね」という声があがりました。

紅葉シーズンは紅葉狩りにでかけたり、四季折々の地域散策を計画しています♪

鯉ヶ沢町社協でも介護に関する相談ができます



介護サービス(予防含む)利用までの流れを簡単にご紹介します💡

介護サービス(予防含む)の利用を希望する場合は、「介護認定」の申請が必要です。

① 申請



申請は本人、家族が鯉ヶ沢町の窓口にて介護認定の申請をします。
鯉ヶ沢町社協居宅介護支援事業所でも申請代行をすることができます。

申請に必要なもの

- ・要介護・要支援認定調査
- ・介護保険の保険証(65歳以上の方)
- ・医療保険の保険証(64歳以下の方)

② 認定調査・判定



介護認定調査員が自宅に訪問して心身の状況を調査します。調査の結果をコンピューターで判定(一次判定)し、主治医意見書とともに、介護認定審査会で審査・判定(二次判定)されます。

主治医意見書

生活機能の低下の原因になった病気やけが、治療内容、心身の状況などについて、主治医に記載してもらう書類です。(無料)

③ 認定・通知



介護認定調査審査会の判定結果にもとづいて「要介護1~5」「要支援1・2」「非該当」の区分に認定されます。



鯉ヶ沢町社会福祉協議会 令和5年度決算・事業の報告

収入の部		支出の部	
勘定科目	決算額(円)	勘定科目	決算額(円)
会費収入	1,536,000	人件費支出	71,392,354
寄附金収入	20,000	事業費支出	23,733,074
共同募金配分金収入	1,810,000	事務費支出	7,164,122
経常経費補助金収入	3,137,500	貸付事業支出	0
助成金収入	3,908,400	共同募金配分金事業費支出	1,810,000
受託金収入	58,721,399	助成金支出	679,150
貸付金収入	113,000	負担金支出	467,000
事業収入	5,150,369	固定資産取得支出	280,500
介護保険事業収入	33,416,395	積立資産支出	691,020
障害福祉サービス等事業収入	29,250	合計	106,217,220
受取利息配当金収入	1,511		
その他の収入	562,347		
積立資産取崩収入	1,848,242		
合計	110,254,413		

収支差額合計(収入ー支出)
4,037,193円

主な事業内容

【鯉ヶ沢町社協独自事業】

- 鯉ヶ沢町社協支部活動
- 生活支援サポート派遣事業
- 生き生きわーくセンター事業
- 権利擁護センター事業(一部、町委託事業あり)
- 車いす貸与事業

【町委託事業】

- 重層的支援体制整備事業
- 生活支援・介護予防サービスの基盤整備事業
- 福祉バス運行事業
- 福祉安心電話サービス事業

【福祉サービス事業】

- 介護保険事業(デイサービス、居宅介護支援、福祉用具貸与)
- 障がい者支援事業(日中一時支援事業)

【その他】

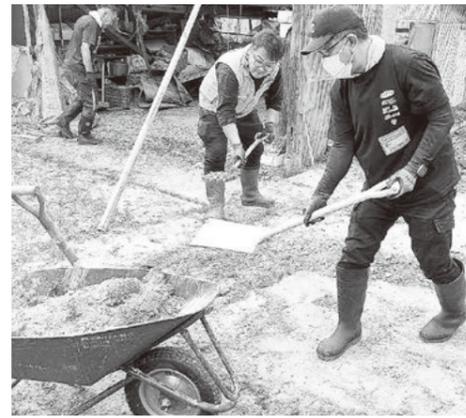
- 総合保健福祉センター管理、団体事務(町老人クラブ連合会事務、西郡社協事務)



酒田市災害ボランティア支援

青森県社協からの要請で8月8日から13日まで豪雨災害を受けた山形県酒田市へ災害ボランティアセンターの運営支援に職員1名を派遣しました。現地では被災者の状況やボランティアの要望などを確認する現地調査を行いました。川が氾濫し、一部の地域では土砂が家屋に流れ込み、浸水被害も多数あり大変な状況でした。

8月11日には別の職員2名が酒田市へ行き、一般ボランティアとして浸水した家具等の災害ゴミや泥の運びだしを行いました。



酒田市ではまだまだボランティアのニーズがあり、現在も復旧作業、ボランティア活動が続いています。一刻も早い復興を願いながら、できる限りの支援を続けていく必要があると感じました。

最近、自然災害が頻発しています。2年前には鯉ヶ沢町も豪雨災害による被害を受けました。今一度、防災グッズや備蓄品の準備、ハザードマップ等を確認してみてください。災害はいつ起こるか分かりません。備えあれば憂いなしです！



けんりょうご ～権利擁護センターあじがさわ～ 権利擁護支援員として活躍してみませんか？

権利擁護支援が必要な方が安心して生活するために、お手伝いしていただける”権利擁護支援員“を募集しております。



“権利擁護支援員”は、具体的に何をしますの？



主に施設利用料等の支払いのお手伝いをします。

まずは、お気軽にお問合せください♪

判断能力の低下などを理由に、鯉ヶ沢町社協が成年後見人等として金銭管理している方の施設利用料や自宅で生活している方の公共料金等の支払いをお手伝いしていただきます。

予約制 買い物支援 バス運行します。

無料!

運行日 午前便 9:00～ 午後便 13:00～

12月				
月	火	水	木	金
2	3	4	5	6
9 鳴沢	10 赤石	11 鯉ヶ沢	12 舞戸	13 中村
16	17	18	19	20
23 赤石	24 中村	25 舞戸	26 鯉ヶ沢	27 鳴沢

1月				
月	火	水	木	金
6 舞戸	7 鯉ヶ沢	8 中村	9 鳴沢	10 赤石
13	14	15	16	17
20 鯉ヶ沢	21 中村	22 鳴沢	23 赤石	24 舞戸
27	28	29	30	31

2月				
月	火	水	木	金
3	4	5	6	7
10 中村	11 鳴沢	12 赤石	13 舞戸	14 鯉ヶ沢
17	18	19	20	21
24 鳴沢	25 赤石	26 舞戸	27 鯉ヶ沢	28 中村

3月				
月	火	水	木	金
3	4	5	6	7
10 赤石	11 舞戸	12 鯉ヶ沢	13 中村	14 鳴沢
17	18	19	20	21
24 舞戸	25 鯉ヶ沢	26 中村	27 鳴沢	28 赤石

注意!

鯉ヶ沢町社協は祝日も営業しています(^^) 祝日も予約の電話、利用に関する問合せはお気軽にどうぞ♪



利用方法

- ①カレンダーで自分の地区の運行日を確認します。
- ②「買い物バスの予約」と社協までお電話（82-1602）又はLINE【お名前、電話番号を入力】。



※毎月運行日を記載したチラシは配布しませんのでこのページを保管し運行日のご確認をお願いします。

移動困難な方々が抱える悩みごとの第1位 「買物」

買物ができないという事は、健康や生活の質が低下し、孤立感が増すといった問題が生じます。

生活支援コーディネーター[町から業務委託]が一昨年に移動困難者（公共交通機関が利用しにくい、運転免許証の返納等）へ調査した結果、日常生活の困りごとは「買物」でした。

そこで、予約型買い物支援バスの運行を実施（月2回：町内5地区）しております。

運転手は主に「生き生きわーくセンター」の会員が行い、自宅（他に希望された場所）からスーパーや商店の往復で買い物支援を実施しています。

また、買い物支援連携企業「鯉ヶ沢地区創生合同会社（青森フレンズ号）」は町内5地区で移動販売を行っています。

※社協だより10月号折込チラシをご覧ください。



令和6年度 受賞おめでとうございます

西津軽郡社会福祉協議会 会長表彰

(敬称略)

地域におけるボランティア奉仕者として地道な活動を続けている方々に会長表彰が授与されました。永きに渡り地域福祉に尽力いただき感謝いたします。

* 相馬 裕子 * 小野 景子 * 日照田 ちか子 *

(鯉ヶ沢地区)

(赤石地区)

(中村地区)

ふくし作文・絵コンクール表彰

今年度のふくし作文・絵コンクールには、町内の小中学校より57作品の応募がありました。審査会が行われ、各賞が決定いたしました。

◇ふくし作文◇小学生高学年の部

最優秀賞 清野 カンナ (舞戸小学校4年)
 優秀賞 今 琥 珀 (舞戸小学校5年)
 佳作 磯 辺 彩 葉 (舞戸小学校5年)

◇ふくし作文◇中学生の部

最優秀賞 一 戸 莉 祐 (鯉ヶ沢中学校3年)
 優秀賞 千 葉 壱 誠 (鯉ヶ沢中学校2年)
 佳作 川 村 花 央 (鯉ヶ沢中学校3年)

◇ふくしの絵◇小学生低学年の部

最優秀賞 今 井 結 翔 (西海小学校2年)
 優秀賞 館 山 陽 奈 葵 (西海小学校1年)
 佳作 工 藤 颯 士 (西海小学校2年)
 特別賞 櫛 引 悠 翔 (西海小学校1年)
 特別賞 新 岡 桜 雅 (西海小学校1年)
 特別賞 佐 藤 日 菜 (西海小学校1年)
 特別賞 松 山 夕 夏 (西海小学校1年)
 特別賞 山 本 のぞみ (西海小学校1年)

最優秀賞 「かぞくしゃしん」



西海小学校2年 今井結翔

鯉ヶ沢支部研修会 手話講座

9月10日(火) 鯉ヶ沢町中央公民館で開催した『手話講座』にお邪魔しました。西北五ろうあ協会の成田明子講師の下、参加者11名が手話や身振りなど、聞こえない人との情報伝達を学びました。コミュニケーションの方法として、手話や筆談、口の動きを読み取る「口話」、空間に字を書く「空書」などがあることの説明を聞いた後、挨拶や名前(名字)等の表現の仕方を楽しく学びました。

手話は手や指、顔の表情等を使った視覚言語です。聞こえない人たちにとって手話はとても大切な言葉だという事を学びました。



おはようございます



こんにちは!



こんばんは



毎年各学校から実習生や職場体験で学生・生徒さんが鯉ヶ沢町社協にやってきます!

今年も8月~9月に大学2年生(弘前学院大学)と3年生(秋田看護福祉大学)、2名の学生さんが2週間から1ヶ月程度の期間でソーシャルワーク実習に取り組みました。

また、重層的支援体制整備事業の重層的支援会議に出席し、支援対象者が入院している病院へ面談に出かけ、支援対象者の課題が解決できる見通しがたち、ソーシャルワーカーの基本的な知識を深めることができたと思います。卒業後は、「困っている」方に寄り添い、信頼されるソーシャルワーカーを目指し頑張ってください!

また、9月25日、26日の2日間、鯉ヶ沢中学校3年生の生徒5名が職場体験にやってきました。社協デイサービスを利用している高齢者の皆さんとおしゃべりし、一緒にゲームをして交流しました。おじいちゃん、おばあちゃんと一緒に住んでいない生徒さんからは最初は緊張したがたくさん話かけてくれ、皆元気でビックリしたという感想がありました。その他、赤い羽根共同募金の募金看板の作成や福祉用具にふれるなど様々な体験をしてもらいました。この体験を通して学んだことが将来に役立ったり、少しでも福祉に興味を持ってもらえれば嬉しいです!

ひとりで悩まずご相談ください

鯉ヶ沢町社協では、暮らしの困りごと(経済的な問題、仕事の問題、家族の問題・・・など)を受け止め、問題解決につなげています。電話相談のほかLINE、メールでも相談できます。



LINEはこちらから ▶▶▶

お気軽にご相談ください

心のモヤモヤ、吐きだしませんか?

✉ ajisya@chic.ocn.ne.jp

☎ 82-1602

